

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【公開番号】特開2011-37889(P2011-37889A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-232130(P2010-232130)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/50

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月11日(2012.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水 - 不溶性又は貧溶性の、磷脂質で被覆した粒子を含む薬剤組成物の粒子形成速度を増大させる方法であって、該粒子が、0.05 ~ 10 μm の直径を有し、該方法が、0.01重量% ~ 50重量%の磷脂質、0.01重量% ~ 5.0重量%の帯電した表面改質剤及び0.01重量% ~ 20重量%の立体的安定化ブロックコポリマーの混合物の存在下で薬剤を均質化又はミクロ流体化することを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

ブロックコポリマーがエチレンオキサイド及びプロピレンオキサイドから誘導されるか、又はエチレンオキサイド及びプロピレンオキサイドのエチレンジアミンに対する連続付加から誘導された四官能性ブロックコポリマーであるか、又はこれらの組み合わせである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ブロックコポリマーが 0.1% ~ 10% の量で存在する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

磷脂質が、卵又は植物由来の又は半合成又は合成の部分的又は完全に水素化された形の又は脱塩された又は塩の形にされた磷脂質である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

天然に産する磷脂質が0.05重量% ~ 20重量%の量で存在する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

帯電した表面改質剤が、帯電した磷脂質、フォスファチジルコリン、ジミリストイルフォスファチジルグリセロールナトリウム塩、フォスファチジリエタノールアミン、フォスファチジルセリン、フォスファチジン酸、又はこれらの組み合わせから選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

帯電した表面改質剤が、0.05重量% ~ 1.0重量%の量で存在する、請求項 6 に記載の方

法。